

令和8年度 第1回 浜松市介護保険運営協議会

日時：令和8年6月30日（火）

午後7時～午後8時30分

場所：浜松市役所北館 101・102 会議室

次 第

1 開会

2 委員、職員の紹介

3 健康福祉部長あいさつ

4 会長及び副会長の選任

5 会長就任あいさつ

6 議事

（1）浜松市における介護保険の状況

【資料1】

（2）はままつ友愛の高齢者プランの令和7年度事業実績及び進捗状況について

【資料2】

（3）第11次浜松市高齢者保健福祉計画策定及び第10期浜松市介護保険事業計画に伴う 実態調査の結果について

【資料3】

7 その他

8 閉会

浜松市における介護保険の状況

(1) 高齢化の状況 (各年度3月末)

(単位:人)

年度	総人口		65歳以上人口		高齢化率
		前年との差		前年との差	
令和4年度	790,580	-	225,153	-	28.5%
令和5年度	786,792	△ 3,788	226,421	1,268	28.8%
令和6年度	781,011	△ 5,781	226,281	△ 140	29.0%
令和7年度	775,457	△ 5,554	226,584	303	29.2%

(2) 被保険者数 (各年度3月末)

(単位:人)

年度	第1号被保険者 (65歳以上)			第2号被保険者 (40歳～64歳)			合 計		
		前年との差	構成比		前年との差	構成比		前年との差	構成比
令和4年度	224,426	-	45.6%	267,925	-	54.4%	492,351	-	100.0%
令和5年度	225,646	1,220	45.8%	267,250	△ 675	54.2%	492,896	545	100.0%
令和6年度	225,545	△ 101	45.8%	266,714	△ 536	54.2%	492,259	△ 637	100.0%
令和7年度	225,803	258	45.9%	266,341	△ 373	54.1%	492,144	△ 115	100.0%

(3) 要介護認定者数 (各年度3月末)

(単位:人)

年度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	前年比	第1号 被保険者	第2号 被保険者	65歳以上 人口のうち 認定率
令和4年度	5,872	4,751	11,996	5,797	5,088	4,367	2,607	40,478	-	39,611	867	17.6%
令和5年度	6,222	5,025	12,324	6,039	5,078	4,654	2,563	41,905	+3.5%	41,000	905	18.1%
令和6年度	6,719	5,171	12,533	5,974	4,839	4,449	2,365	42,050	+0.3%	41,151	899	18.2%
令和7年度	6,912	5,421	13,042	6,083	4,961	4,752	2,195	43,366	+3.1%	42,460	906	18.7%

(4) 介護保険料

(単位:円)

基準額(月額)	基準額(月額)	基準額(年額)
第4期 (平成21～23年度)	4,350	52,200
第5期 (平成24～26年度)	5,050	60,600
第6期 (平成27～29年度)	5,200	62,400
第7期 (平成30～令和2年度)	5,534	66,412
第8期 (令和3～令和5年度)	5,859	70,312
第9期 (令和6～令和8年度)	5,900	70,802

はままつ友愛の高齢者プランの令和7年度事業実績について (介護保険事業に関する項目を抜粋)

1 成果目標 (前プラン P49、60)

区 分	成果目標	単位	目標値 (R7)	R7 見込	備 考
プラン全体	持続可能な介護保険事業の運営	億円	750.9	723.2	介護保険事業の年間費用 (保険給付費＋地域支援事業費)
[重点施策6] 人材の確保・定着・育成	中山間地域を対象にサービスを提供する事業所数	箇所	50	57	「中山間地域介護サービス利用支援事業費補助金」の実績報告事業所数

2 7つの重点施策の実施状況 (前プラン P35、46)

No.	施 策	方向性	令和7年度の実施状況
4	人材の確保・定着・育成	サービスの担い手となる人材の育成・定着及び介護職の魅力の発信など多様な人材の確保に向けた総合的な取組を実施します。	(1) 介護職員キャリアアップ支援 ・資格取得費用の助成 助成人数: R7 164人 (R6 150人) (2) 介護職イメージアップの取り組み ・かいご TERAKOYA 事業 参加者数: R7 小学生 229人、学生サポーター 92人 (R6 小学生 180人、学生サポーター 88人) ・はままつかいご探検隊 2025 参加者数: R7 小学生 15人、学生サポーター 9人 (3) 中山間地域介護サービス充実対策 ・中山間地域介護サービス利用支援事業費補助金 R7 28,393件 (R6 25,060.5件) ・中山間地域における特別地域加算利用者負担額助成 R7 417人 (R6 422人) (4) 介護現場の生産性の向上を図る取組への支援 ・EPA受入助成 R7 マッチング成立年度: 1年目 1法人 2人 (R6 受入年度: 1年目 1法人 2人) (5) 介護人材確保推進検討会 2回開催 (7月、3月)

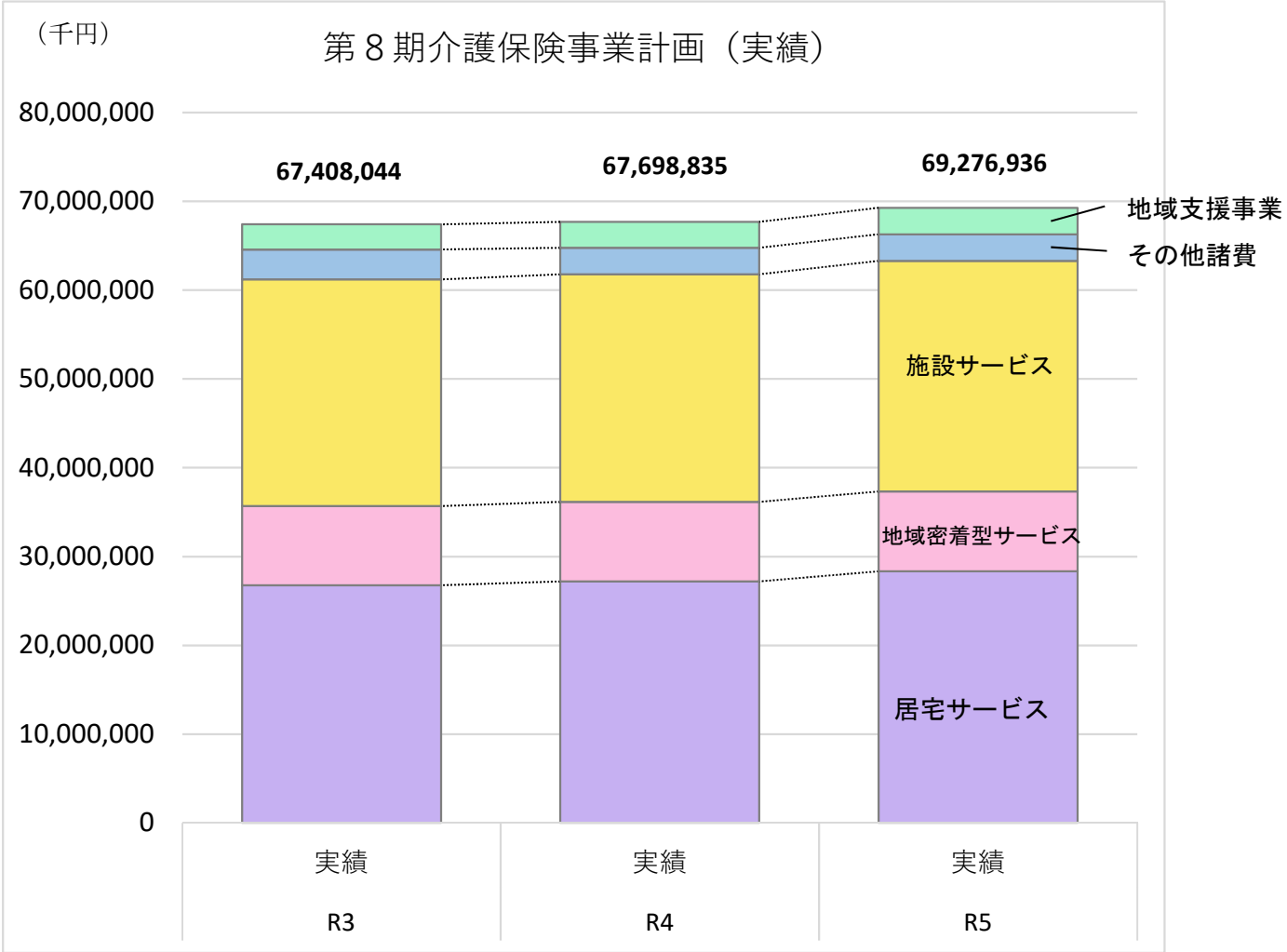
3 地域支援事業サービスの実施状況（プラン P51）

予防

No.	事業名		令和 6 年度	令和 7 年度		達成率 (%)
			実績	計画	実績	
④	訪問型 サービス	介護予防訪問サービス (回)	17,296	18,749	16,192	86.4
⑤		生活支援訪問サービス (回)	209	306	153	50.0
⑧	通所型 サービス	介護予防通所サービス (回)	52,034	49,892	54,184	108.6
⑪	介護予防ケアマネジメントA (介護予防訪問サービス・介護予防通所サービス利用) 件数 (件)		35,487	37,108	35,608	96.0

4 介護給付費+地域支援事業費の推移

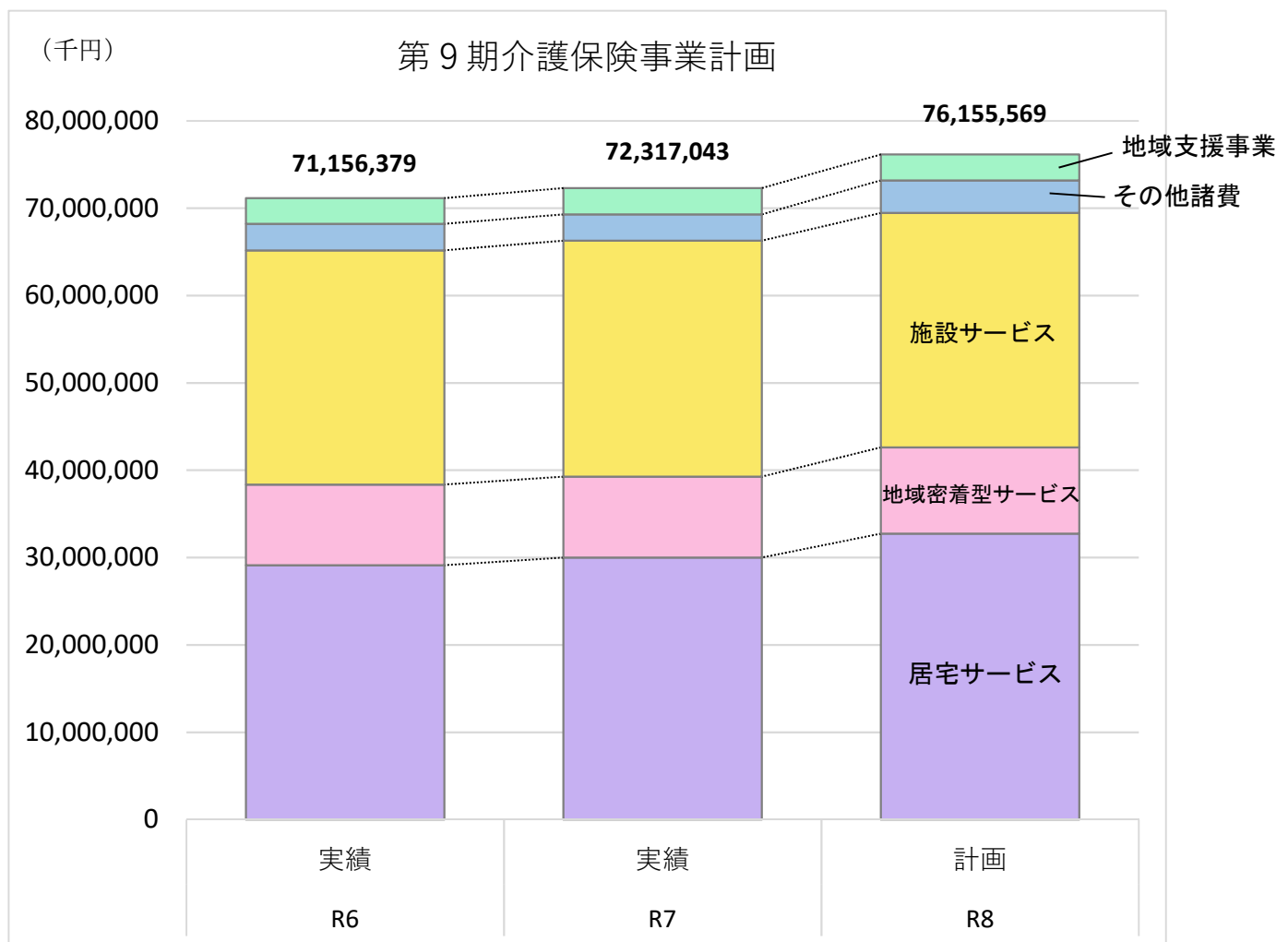
〔参考〕第8期介護保険事業計画の実績



(単位：円)

	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
介護給付費	計画	実績	計画	実績	計画	実績
居宅サービス	27,535,429,000	26,764,183,946	28,834,595,000	27,193,584,583	30,001,116,000	28,335,363,242
地域密着型サービス	9,435,029,000	8,916,294,791	9,746,373,000	8,949,059,009	10,088,434,000	8,991,253,600
施設サービス	26,187,157,000	25,520,014,177	26,192,410,000	25,626,109,210	26,192,410,000	25,967,873,506
その他諸費	3,863,563,000	3,379,157,985	3,791,905,000	3,017,299,233	3,840,782,000	3,000,283,816
計	67,021,178,000	64,579,650,899	68,565,284,000	64,786,052,035	70,202,742,000	66,294,774,164
地域支援事業	2,947,895,000	2,828,392,831	3,031,415,000	2,912,782,768	3,131,467,000	2,982,161,449
合計	69,969,073,000	67,408,043,730	71,596,699,000	67,698,834,803	73,334,209,000	69,276,935,613

第9期介護保険事業計画



(単位：円)

	令和6年度		令和7年度		令和8年度
介護給付費	計画	実績	計画	実績	計画
居宅サービス	30,844,854,000	29,127,681,495	31,968,485,000	30,015,764,334	32,741,800,000
地域密着型サービス	9,583,017,000	9,236,582,822	9,765,795,000	9,262,555,294	9,875,153,000
施設サービス	26,584,452,000	26,819,771,901	26,727,336,000	26,989,495,620	26,843,470,000
その他諸費	3,614,320,000	3,030,884,241	3,682,967,000	3,018,329,907	3,732,641,000
計	70,626,643,000	68,214,920,459	72,144,583,000	69,286,145,155	73,193,064,000
地域支援事業	2,932,463,000	2,941,458,076	2,942,613,000	3,030,897,491	2,962,505,000
合計	73,559,106,000	71,156,378,535	75,087,196,000	72,317,042,646	76,155,569,000

※その他諸費→介護給付費明細書審査支払経費（国保連合会に支払う審査手数料）、高額介護サービス費、高額医療合算介護サービス等費、特定入所者介護サービス費を併せた経費の総称

浜松市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定に伴う 実態調査の結果報告について

1 趣 旨

老人福祉法第 20 条の 8 の規定等に基づく次期高齢者保健福祉計画及び介護保険法第 117 条の規定に基づく次期介護保険事業計画および浜松市認知症施策推進計画を一体的に「はままつ友愛の高齢者プラン」（計画期間：令和 9～11 年度）として策定するにあたり、高齢者の生活状況や活動状況、介護保険サービスに対する意向や認知症に対する意識などの実態調査を行ったので、その結果を報告するもの。

2 調査対象・回収状況

No.	種 別	対 象 者	標本数	有効 回収数	有効 回収率
1	高齢者一般調査	市内在住の 65 歳以上の人で、 介護認定を受けていない人	2,000	1,405	70.3%
2	在宅要支援認定者 調査	市内在住の介護認定（要支援 1・2）を受けている人（施設入 所者を除く。介護保険サービス 未利用者を含む。）及び事業対 象者の人	2,000	1,257	62.9%
3	在宅要介護認定者 調査	市内在住の介護認定（要介護 1 ～5）を受けている人（施設入 所者を除く。介護保険サービス未 利用者を含む。）	2,000	1,122	56.1%
4	認知症の人と その家族の思い調査	認知症の診断を受けた人（疑い を含む）とその家族		263	
5	認知症に関する 意識調査	18 歳以上 64 歳以下で 介護認定を受けていない人	1,500	544	36.3%

3 調査方法等

- ・抽出方法 介護保険システムから該当者を無作為抽出
- ・調査方法 No.1～3, 5 郵送により実施（自記式）
No.4 職員による聞き取り調査
- ・調査期間 No.1～3, 5 令和 7 年 12 月 15 日～令和 8 年 1 月 13 日
No.4 令和 7 年 11 月 4 日～令和 8 年 1 月 13 日

4 調査結果報告書

別冊を添付

5 令和8年度計画策定スケジュール（予定）

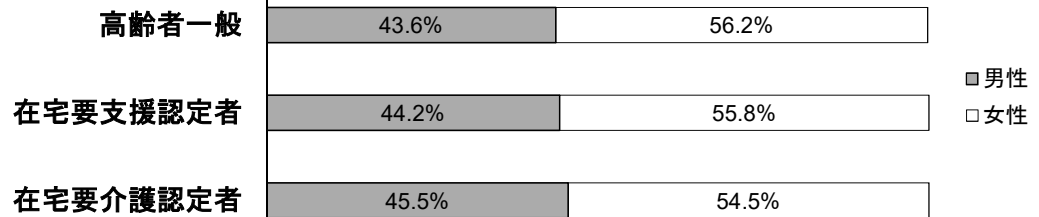
時期	内 容
5 月	・ <u>市議会厚生保健委員会</u> 【報告】実態調査の結果
7 月	・ 第1回社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会・第1回介護保険運営協議会 【審議】現計画実績報告、策定スケジュール、実態調査結果の報告 ・ 第1回地域包括支援センター運営協議会 【報告】現計画実績報告、策定スケジュール、実態調査結果の報告
8 月	・ 第2回社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会・第2回介護保険運営協議会 【審議】骨子案
9 月	・ <u>市議会厚生保健委員会</u> 【報告】骨子案 ・ 第3回社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会・第3回介護保険運営協議会 【審議】プラン（素案）（サービス量含む） 【報告】パブリック・コメントの実施
10 月	・ 第2回地域包括支援センター運営協議会 【報告】プラン（素案）（サービス量含む） 【報告】パブリック・コメントの実施 ・ 第4回社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会・第4回介護保険運営協議会 【審議】プラン（案）、パブリック・コメント実施
11 月	・ <u>市議会厚生保健委員会</u> 【報告】プラン（案）、パブリック・コメント実施
1 月	・ 第5回社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会 【報告】パブリック・コメントの実施結果 【審議】プラン(修正案) ・ 第5回介護保険運営協議会 【報告】パブリック・コメントの実施結果 【審議】プラン(修正案)、給付費と保険料設定
2 月	・ <u>市議会厚生保健委員会</u> 【報告】プラン(修正案)（保険料案含む） ・ パブリック・コメント結果の公表
3 月	・ 第3回地域包括支援センター運営協議会 【報告】パブリック・コメントの実施結果、プラン(修正案) ・ プラン決定・公表



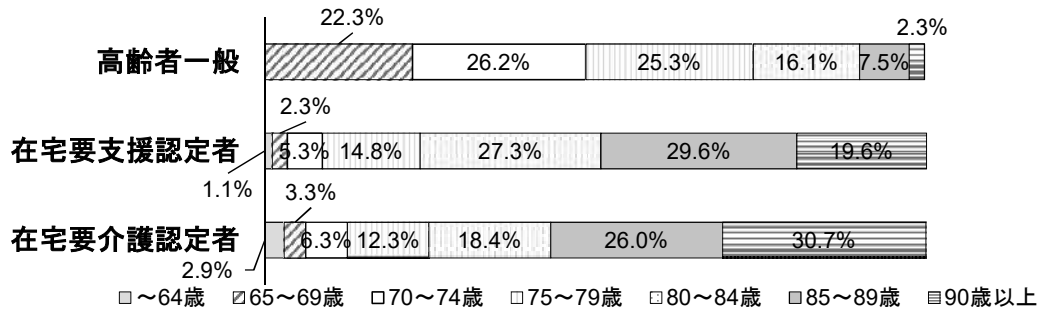
調査対象者の状況 1

高齢者一般 N=1,405
在宅要支援認定者 N=1,257
在宅要介護認定者 N=1,122
単純集計

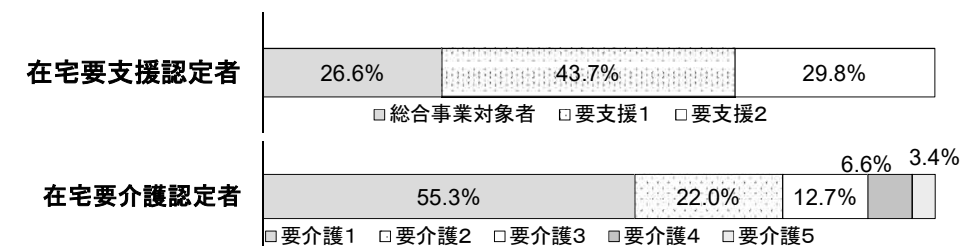
性別



年齢別



要介護度別



1



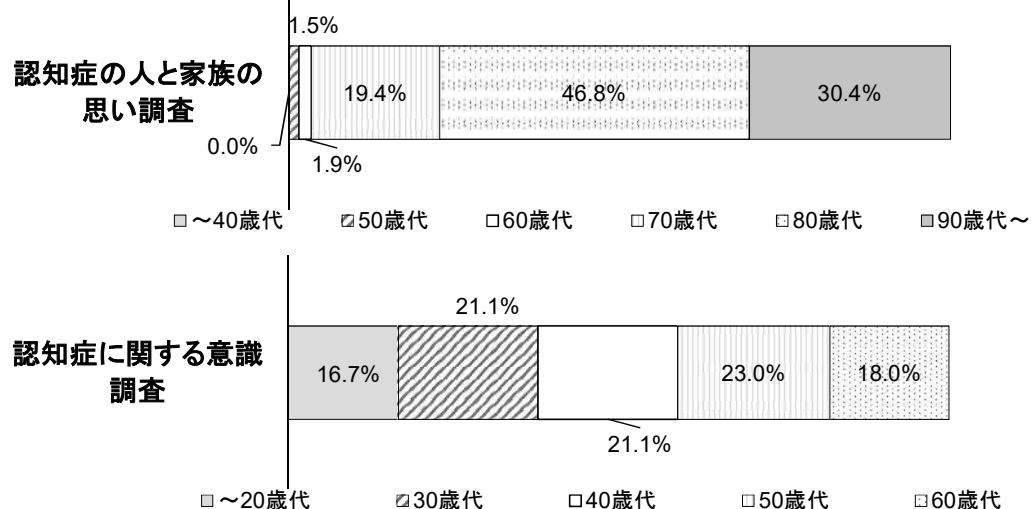
調査対象者の状況 2

認知症の人と家族の思い調査 N=263
認知症に関する意識調査 N=544
単純集計

性別



年齢別



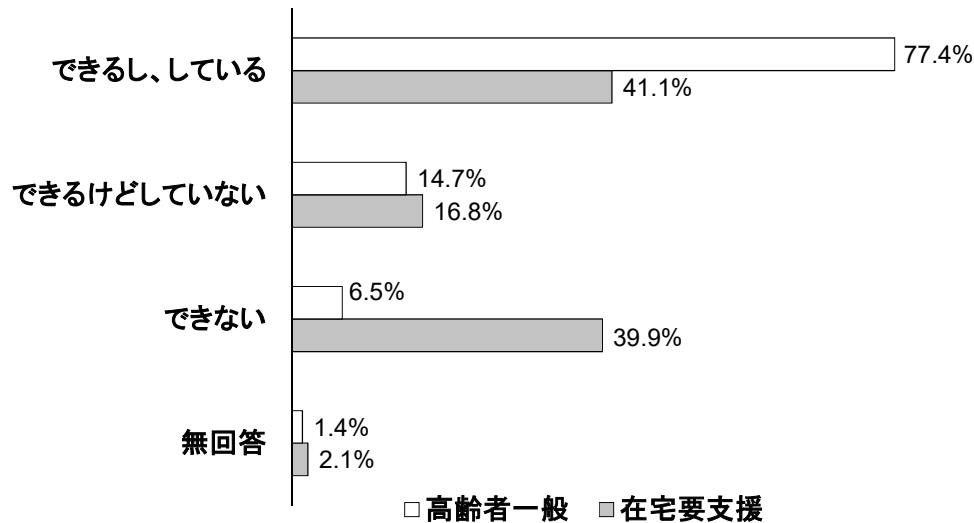
2



椅子からの立ち上がり

高齢者一般 N=1,405
在宅要支援認定者 N=1,257
単純集計

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。



- ◆ 高齢者一般では「できるし、している」の割合が最も高い
- ◆ 要支援では「できるし、している」「できるけどしていない」の合計が57.9% (R4: 52.7%)となっています

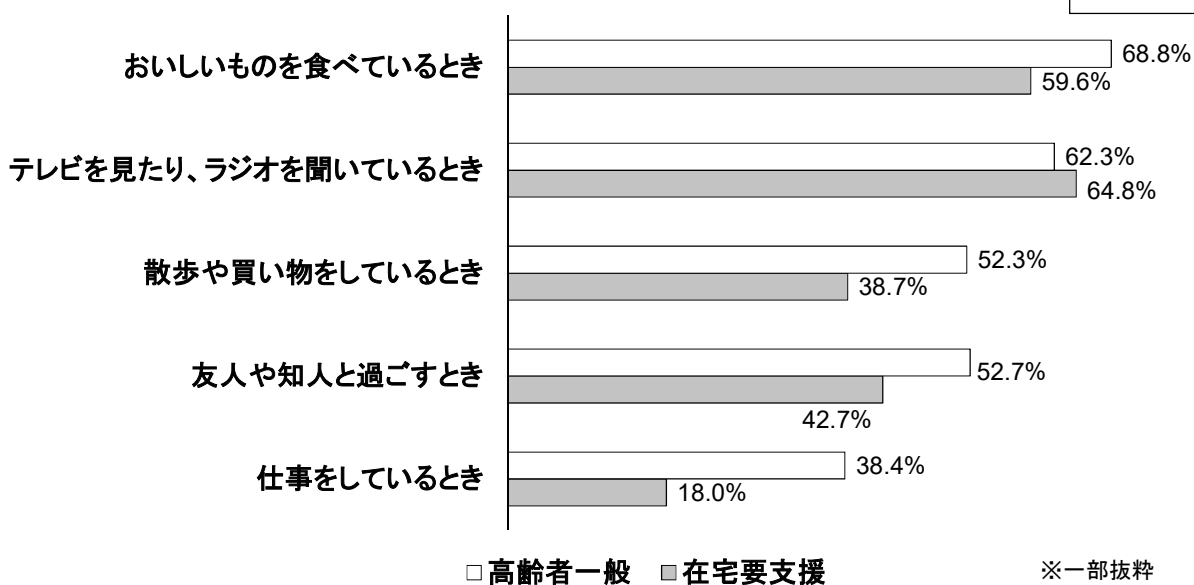
3



生きがいを感じる時

高齢者一般 N=1,405
在宅要支援認定者 N=1,257
単純集計

※複数回答
(いくつでも)



- ◆ 高齢者一般が「おいしいものを食べているとき」在宅要支援が「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」の割合が最も高くなっている（前回調査と同様の結果）

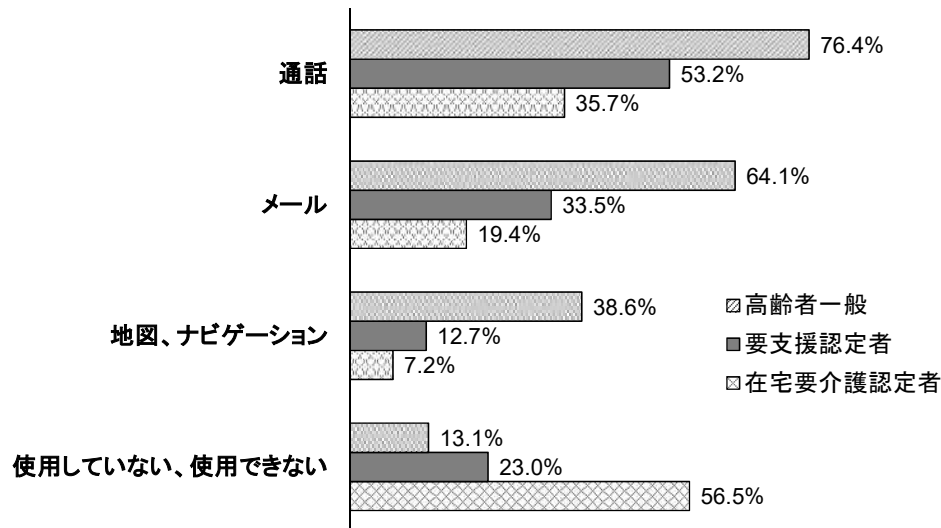
4



パソコン等の使用目的

高齢者一般 N=1,405
 在宅要支援認定者 N=1,257
 在宅要介護認定者 N=1,122
 単純集計

パソコン・スマートフォン・タブレットをどのようなことに使用していますか



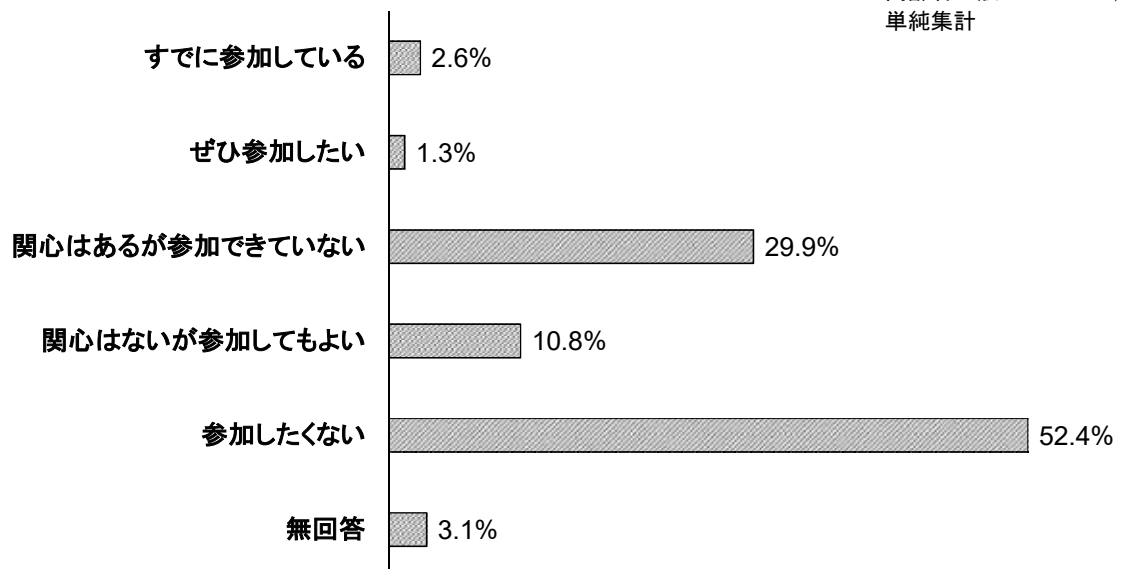
◆いずれの調査でも「通話」、「メール」の使用が多い結果となっている。
 「使用していない、できない」は高齢者一般が1割、要支援認定者が2割、要介護認定者は6割

5



地域住民による支え合い活動

高齢者一般 N=1,405
 単純集計



◆「ぜひ参加したい」「関心はあるが参加できていない」「関心はないが参加してもよい」の合計が42.0%となっている（R4：38.5%）
 ⇒参加希望者を支え合い活動の新たな担い手として活動につなげる手法の検討が必要

6

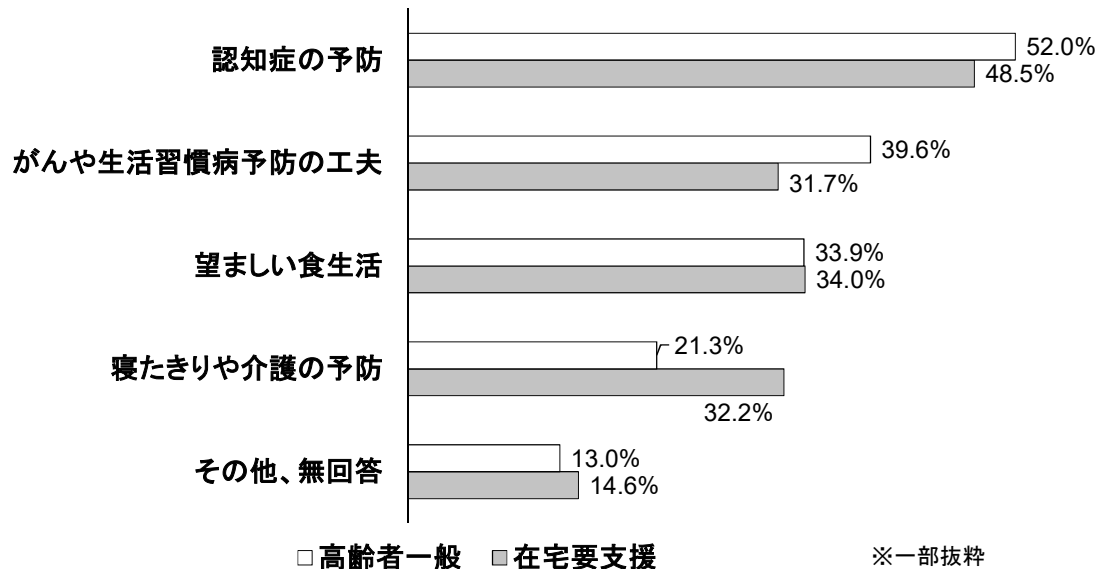


健康への関心

高齢者一般 N=1,405
在宅要支援認定者 N=1,257
単純集計

健康について知りたいこと

※複数回答
(3つまで)



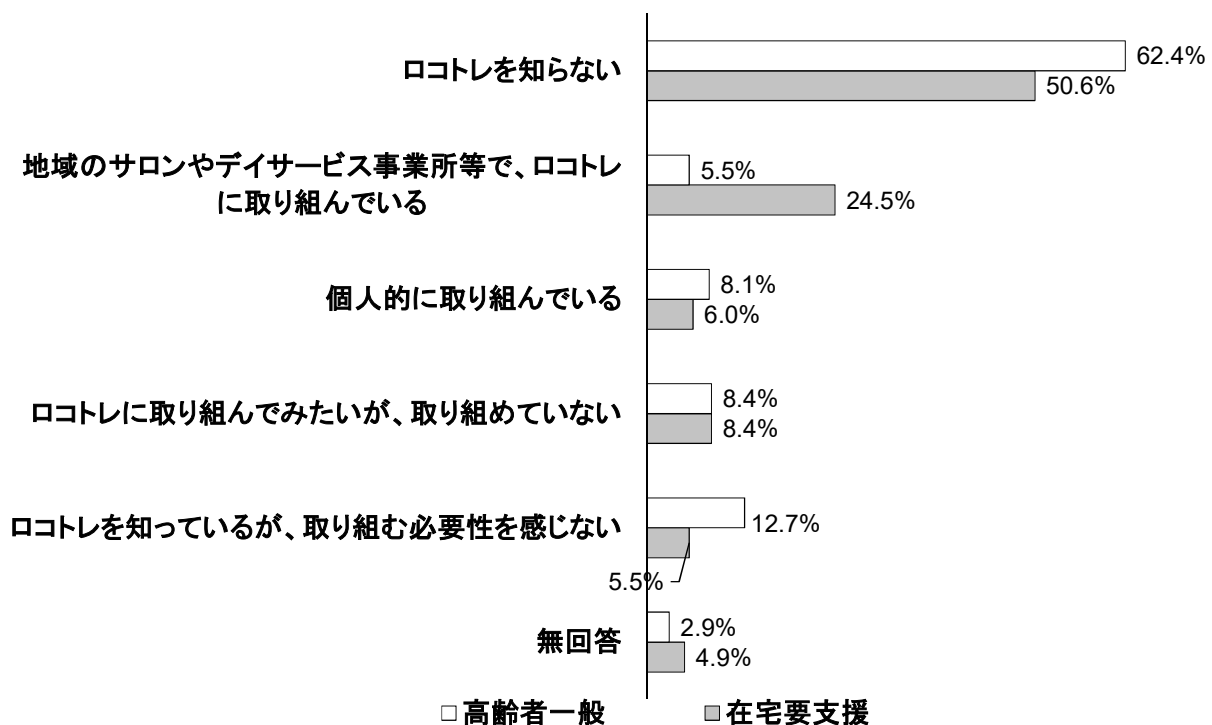
- ◆「認知症予防」への関心が第1位
- がん・生活習慣病予防、食生活等への関心度も上位に位置づけられている
- ⇒関心事項に関する適切な情報提供の必要性

7



ロコトレの取組状況

高齢者一般 N=1,405
在宅要支援認定者 N=1,257
単純集計



- ◆高齢者一般・要支援とも「ロコトレを知らない」の割合が最も高い
- ◆要支援で、「地域のサロンやデイサービス事業所等で、ロコトレに取り組んでいる」の割合が2割を超えている

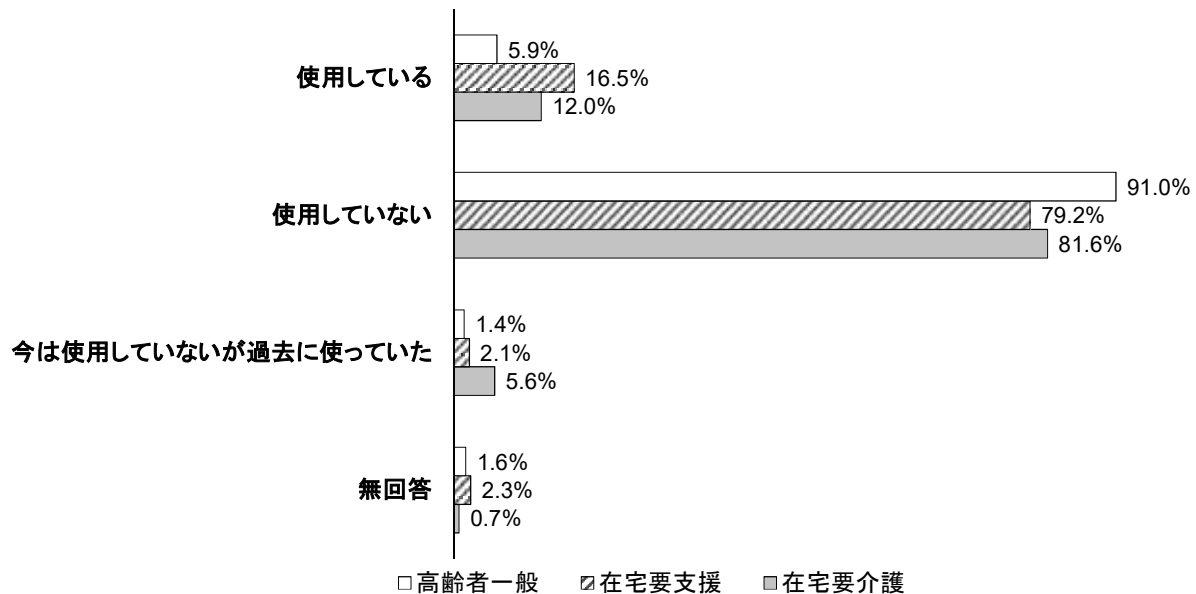
8



補聴器の使用有無

高齢者一般 N=1,405
在宅要支援認定者 N=1,257
単純集計

補聴器を使用していますか

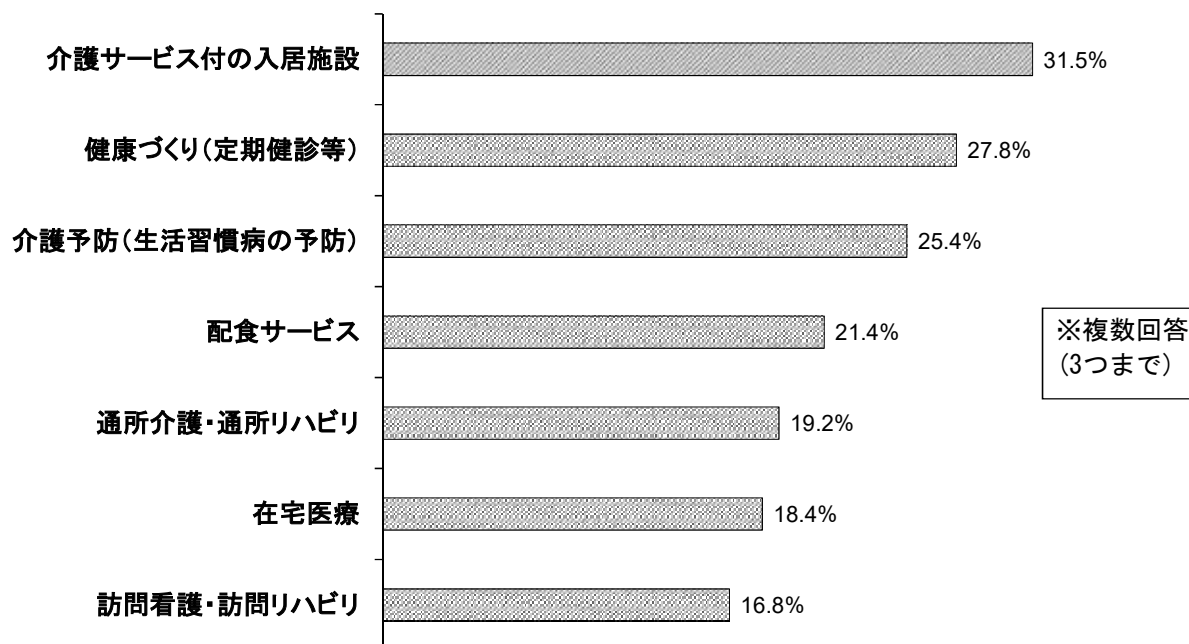


- ◆ 高齢者一般・要支援・要介護とも「使用していない」の割合が高い
- ◆ 要支援が「使用している」の割合が他より高くなっている



市に充実を求めること

高齢者一般 N=1,405
単純集計



- ◆ 入居施設や健康づくり・介護予防に関することが上位に位置づけられており、続いて在宅で受けるサービスに関することが求められている

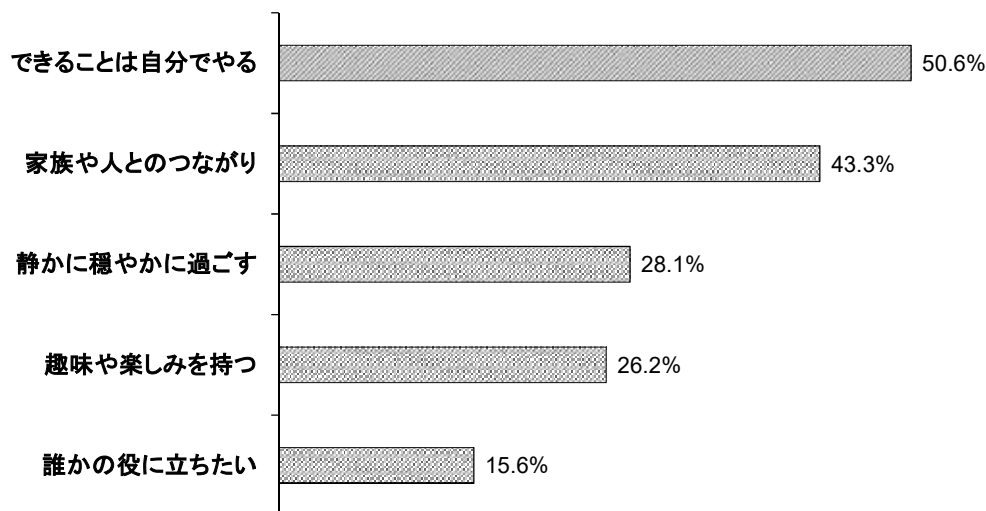


認知症の人の思い 1

認知症の人と
その家族の思い調査 N=263
単純集計

※複数回答
あり

暮らしの中で、あなた（認知症本人）が大切にしていることは何ですか



◆大切にしていることのエピソード

- ・ 食事や入浴などできることはなるべく自分でやっている
- ・ 本人と同居家族・別居家族で支え合うようにしている
- ・ みんなと音楽を演奏したりお手伝いをすることで気持ちが安定する

11

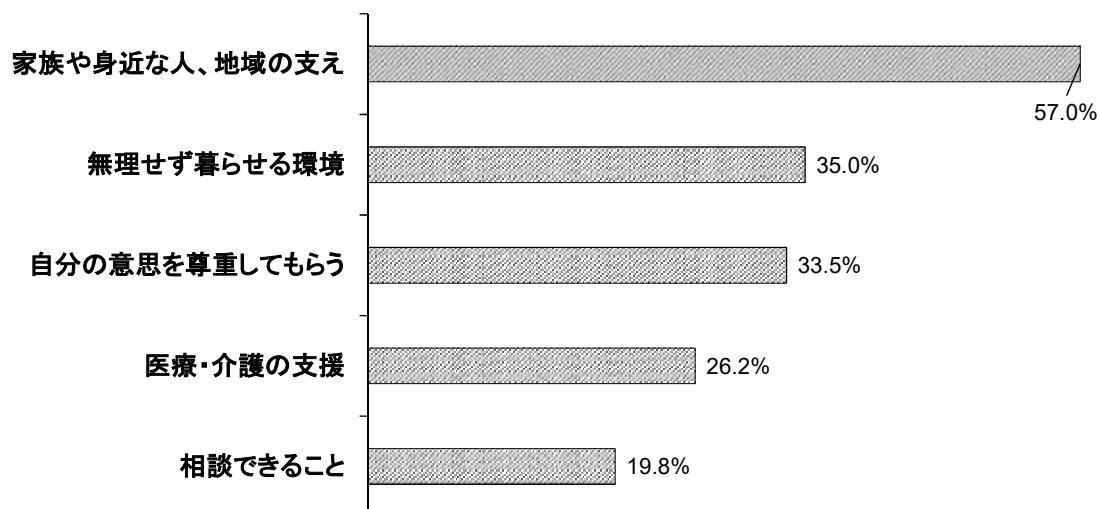


認知症の人の思い 2

認知症の人と
その家族の思い調査 N=263
単純集計

※複数回答
あり

安心して暮らすために、あなた（認知症本人）が必要だと感じることは何ですか



◆安心して暮らすために必要だと感じることは、「家族や身近な人、地域の支え」が最も多く、次いで「無理せず暮らせる環境」となっています。

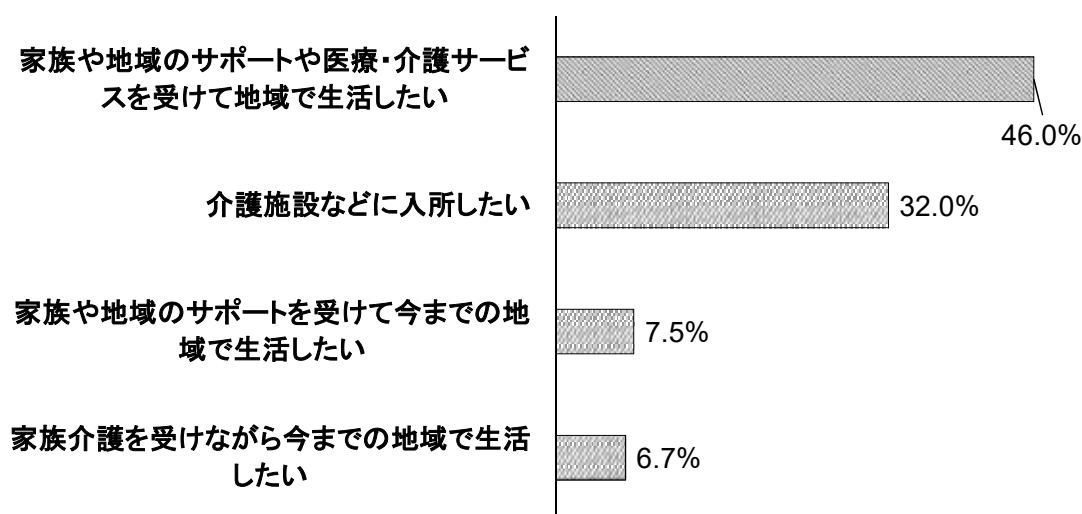
12



認知症への意識 1

18歳～64歳で
介護認定を受けていない人
N=263 単純集計

自分や家族が認知症になったら、どのように暮らしたいか



◆「家族や地域のサポートや医療・介護サービスを受けて地域で生活したい」が一番多く、次いで「介護施設などに入所したい」となっています。

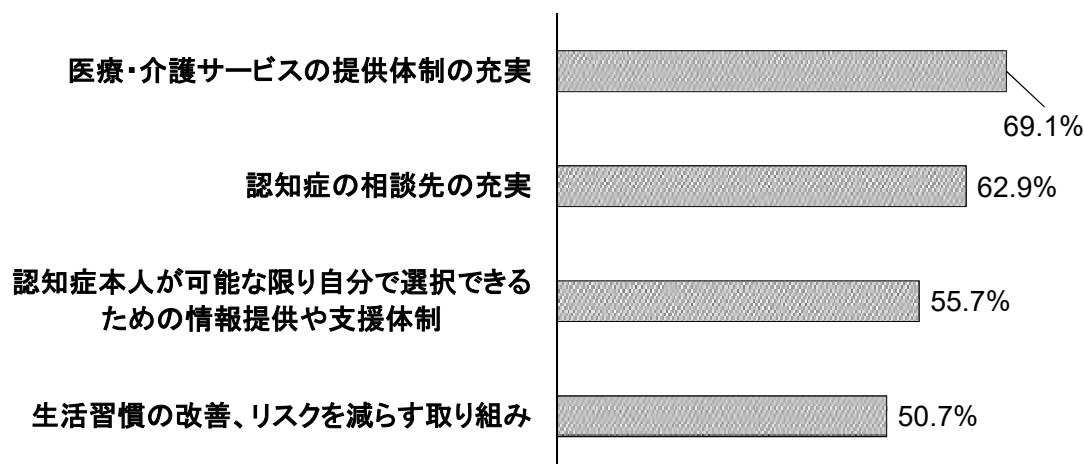
13



認知症への意識 2

18歳～64歳で
介護認定を受けていない人
N=263 単純集計

自分や家族が認知症になっても、得意なことを活かしながら地域で暮らすために必要なこと



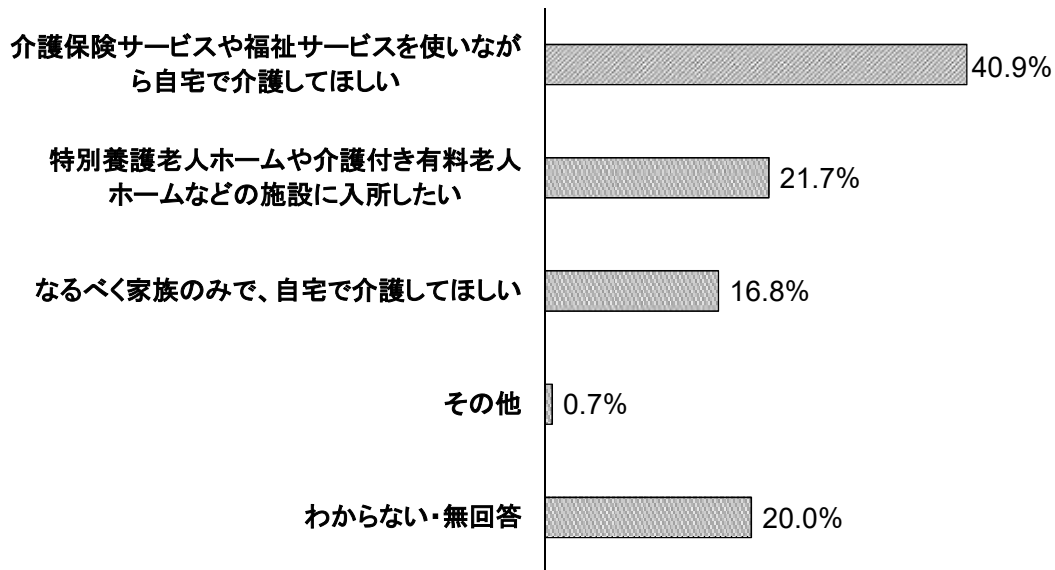
◆「医療・介護サービスの提供体制の充実」が一番多く、次いで「認知症の相談先の充実」となっています。4つの回答はすべて5割を超えています。

14



どこで介護を受けたいか

高齢者一般 N=1,405
単純集計



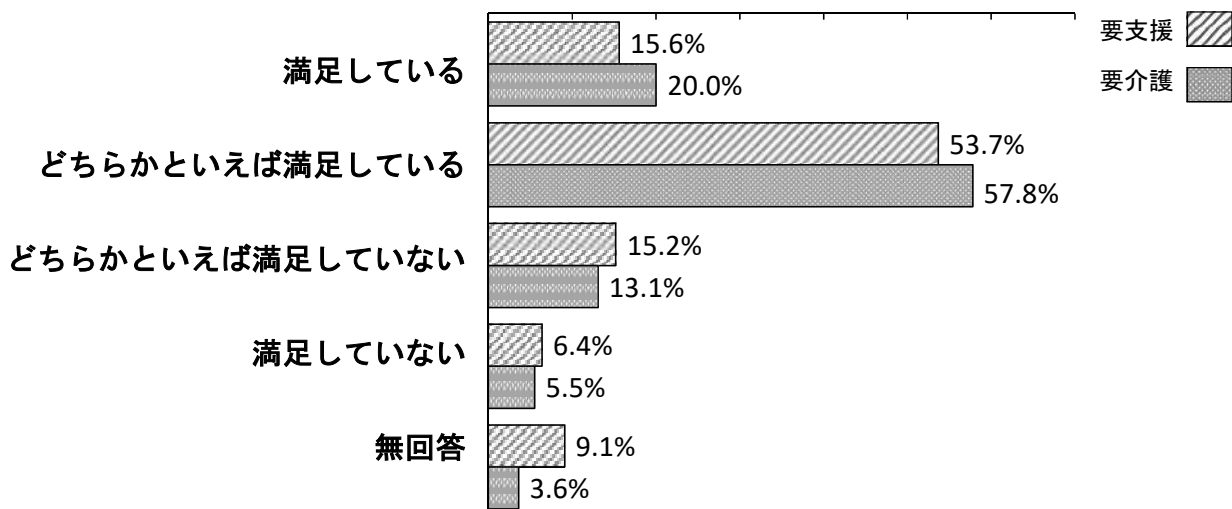
- ◆「介護保険サービスや福祉サービスを使いながら自宅で介護してほしい」人が4割を占めて最も高く、前回調査結果より増加(R4:38.8%)
- ◆「わからない・無回答」が前回より5%減少(R4:25.0%)
- ⇒ 介護保険に対する市民の理解が進み、介護を必要とする高齢者を支える重要な制度として社会に定着してきたことが伺える

15



介護保険制度の満足度

在宅要支援認定者 N=1,257
在宅要介護認定者 N=1,122
単純集計



- ◆「満足」「どちらかといえば満足」の合計は、要支援 69.3%、要介護 77.8% と高い状況(R4:要支援 65.9%、要介護 76.5%)
- ⇒ 要支援、要介護共に制度への満足度は前回調査結果より上昇している

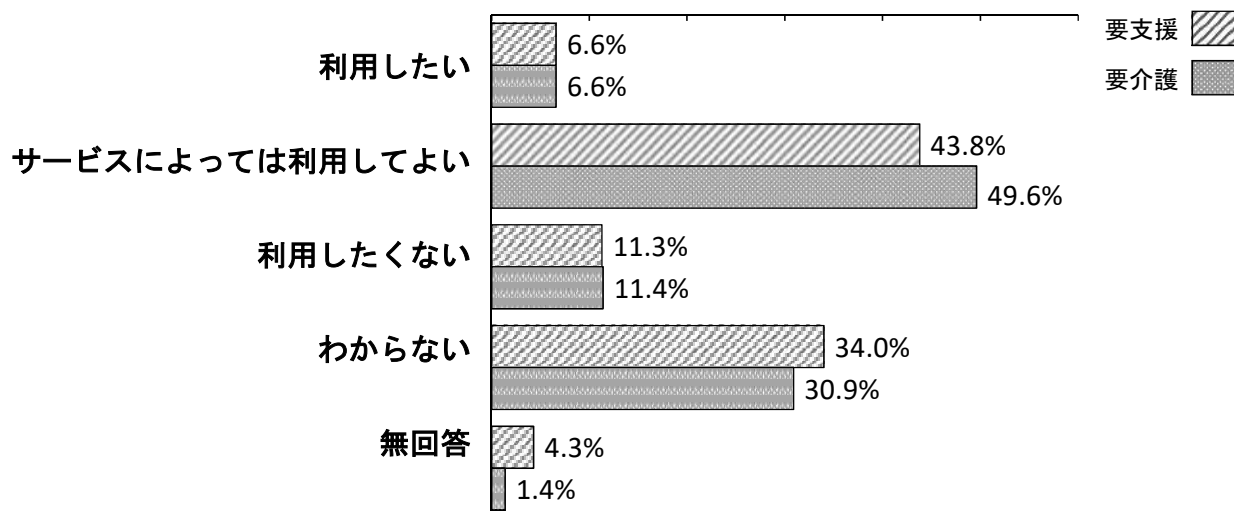
16



介護ロボット等の活用

在宅要支援認定者 N=1,257
在宅要介護認定者 N=1,122
単純集計

介護ロボット等を活用したサービスについてどう感じるか



- ◆「利用したい」「サービスによっては利用してよい」の合計は5割を超える
(要支援 50.4%、要介護 56.2%)
- ◆「利用したくない」が1割、「わからない」が3割ある状況

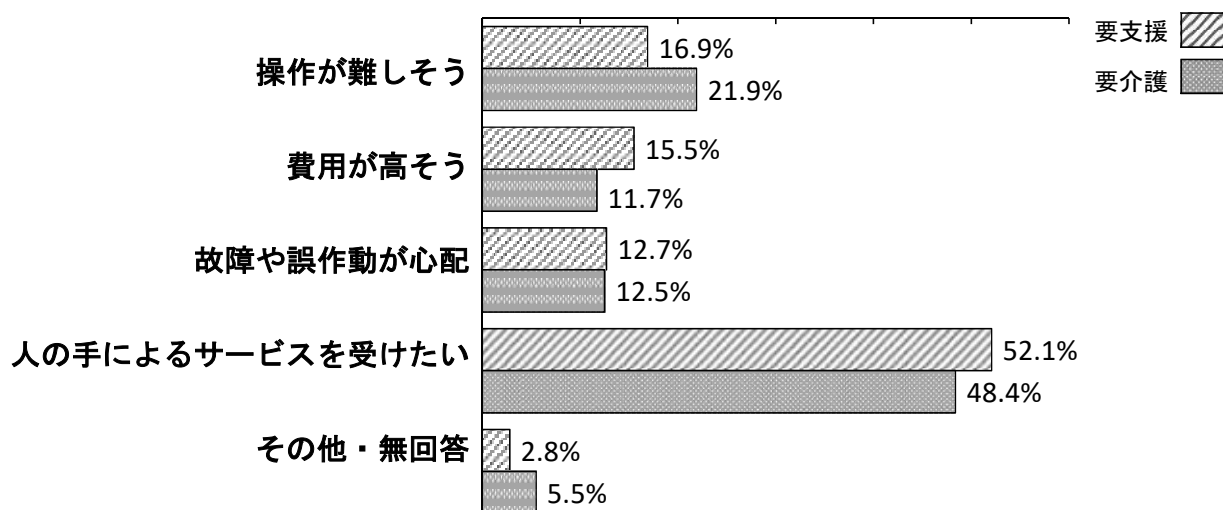
17



「利用したくない」の理由

在宅要支援認定者 N=142
在宅要介護認定者 N=128
単純集計

介護ロボット等を活用したサービスを利用したくない理由



- ◆「人の手によるサービスを受けたい」の割合が最も高い
- ◆「操作が難しそう」「費用が高そう」の合計が3割を超える
(要支援 32.4%、要介護 33.6%)
- ⇒ 導入コスト、操作方法に不安があり、情報提供の必要性

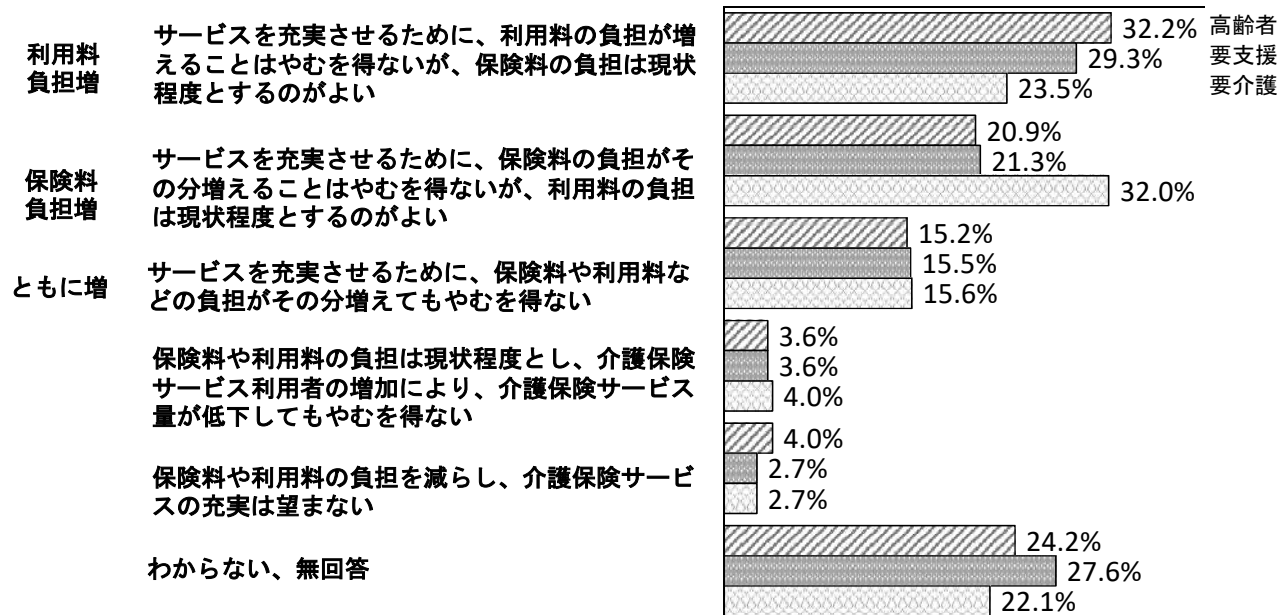
18



介護保険サービスの充実

高齢者一般 N=1,405
在宅要支援認定者 N=1,257
在宅要介護認定者 N=1,122
単純集計

介護保険料と利用料の費用負担のあり方



◆全体的に負担増があってもサービスの充実に希望している人が多い。高齢者一般及び要支援調査では利用料の負担増の割合が高く、介護保険サービスを利用している要介護調査では、保険料の負担増の割合が高い傾向にある。 ⇒ 保険料設定の参考

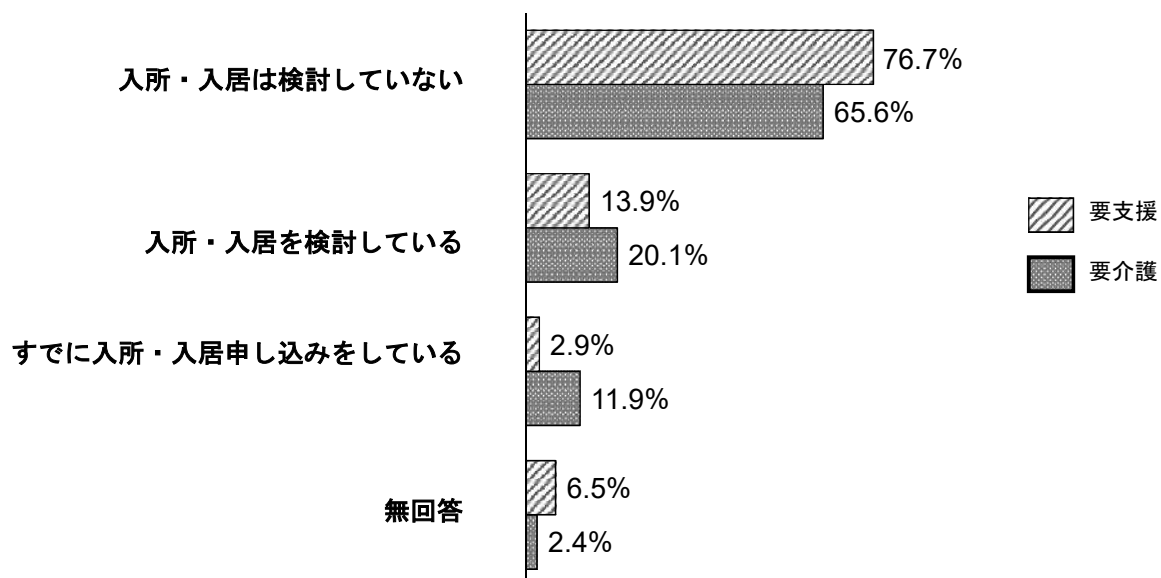
19



施設入所・入居の検討状況

在宅要支援認定者 N=1,257
在宅要介護認定者 N=1,122
単純集計

現時点での、施設等への入所・入居検討状況



◆前回調査に引き続き要支援、要介護認定者調査共に、「入所・入居は検討していない」の割合が高くなっている。(R4:要支援 74.4%、要介護 57.3%)
⇒ 利用者の状況に応じた適切な施設の整備に努めていく

20



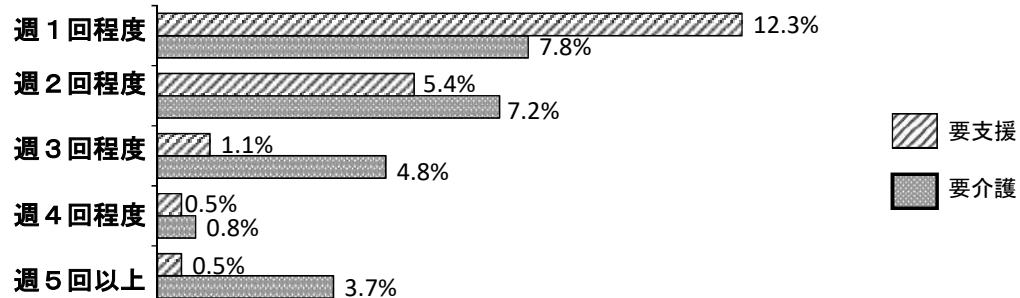
現在利用しているサービス

在宅要支援認定者 N=373

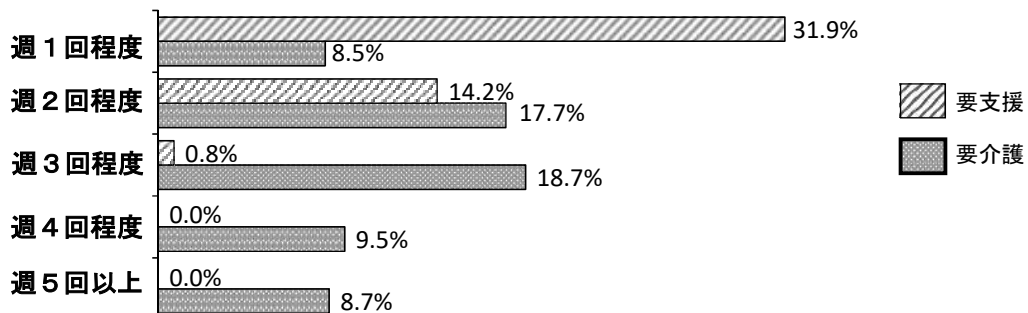
在宅要介護認定者 N=733

単純集計

(訪問介護)



(通所介護)



◆訪問介護サービスは要支援、要介護共に週 1 回程度が多い。

◆通所介護サービスは要支援が週 1 回程度、要介護は週 3 回程度の利用率が最も高い。

21



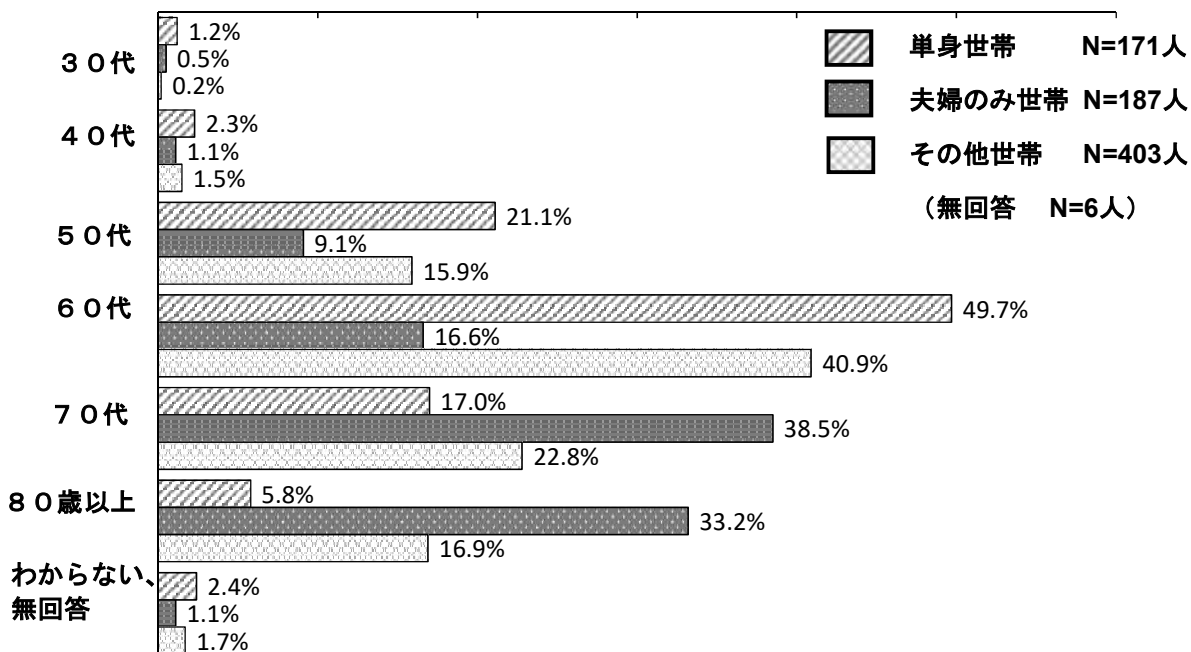
主な介護者の年齢

在宅要介護認定者

家族構成別クロス集計

N=767

家族・親族（同居していない子供・親族含む）から協力を受けている人のみの回答



◆夫婦のみ世帯は70～80歳以上が多い（70歳以上が71.7%）（R4:64.9%）

◆単身世帯では50～60代が多い（60代が49.7%）（R4:39.9%）

22



介護のための離職

在宅要支援認定者 N=316

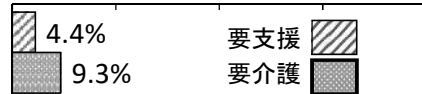
在宅要介護認定者 N=767

単純集計

家族・親族で過去1年間に仕事を辞めた人

※複数回答
(いくつでも)

主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）



主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）



主な介護者が転職した



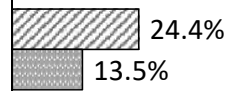
主な介護者以外の家族・親族が転職した



介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない



わからない、無回答



◆過去1年間に、在宅要介護認定者の介護者や家族・親族で仕事を辞めた人は前回調査時と同様に約1割 ⇒ 介護のために離職する人を減らすための施策の必要性

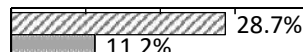
23



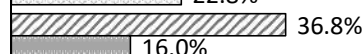
主な介護者の勤務形態

在宅要介護認定者
N=767

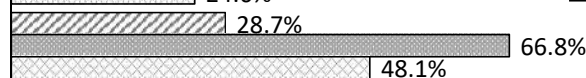
フルタイムで働いている



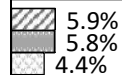
パートタイムで働いている



働いていない



わからない、無回答



単身世帯 N=171人
夫婦のみ世帯 N=187人
その他世帯 N=403人
(無回答 N=6人)

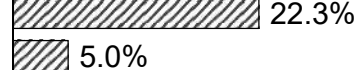
(家族構成別クロス集計)

介護のための働き方の調整

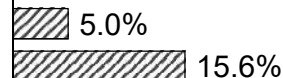
特に行っていない

労働時間を調整（残業免除・時短等）しながら
年休・介護休暇等を取りながら

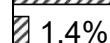
在宅勤務を利用しながら



上記以外の調整をしながら



わからない、無回答



(単純集計・複数回答)

◆主な介護者のうち、単身世帯では5割以上の方が働いている

→夫婦のみ世帯では「働いていない」の割合が高く、前回調査結果より増加(R4:61.4%)

◆4割以上の介護者が「労働時間を調整しながら働く」など働き方の調整をしている

24



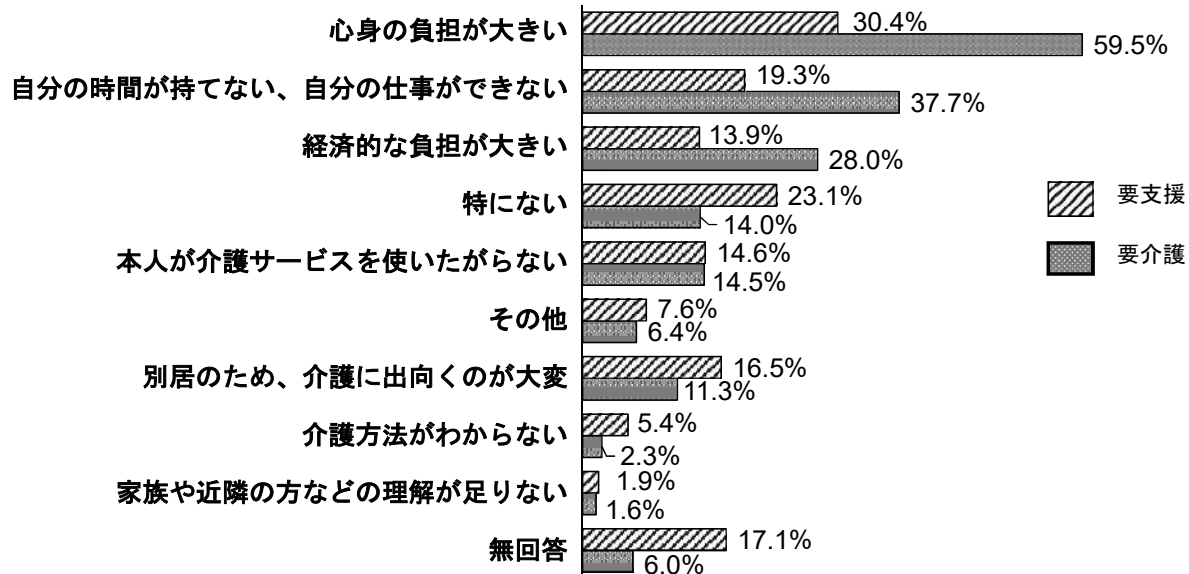
介護者の困りごと

在宅要支援認定者 N=316

在宅要介護認定者 N=767

単純集計

介護する上で困っていること（介護者）

※複数回答
(3つまで)

◆要介護認定者調査では、前回の調査結果と同様に介護者の半数以上が「心身の負担が大きい」と感じている ⇒ 適切なサービス利用の啓発、情報提供の必要性

25

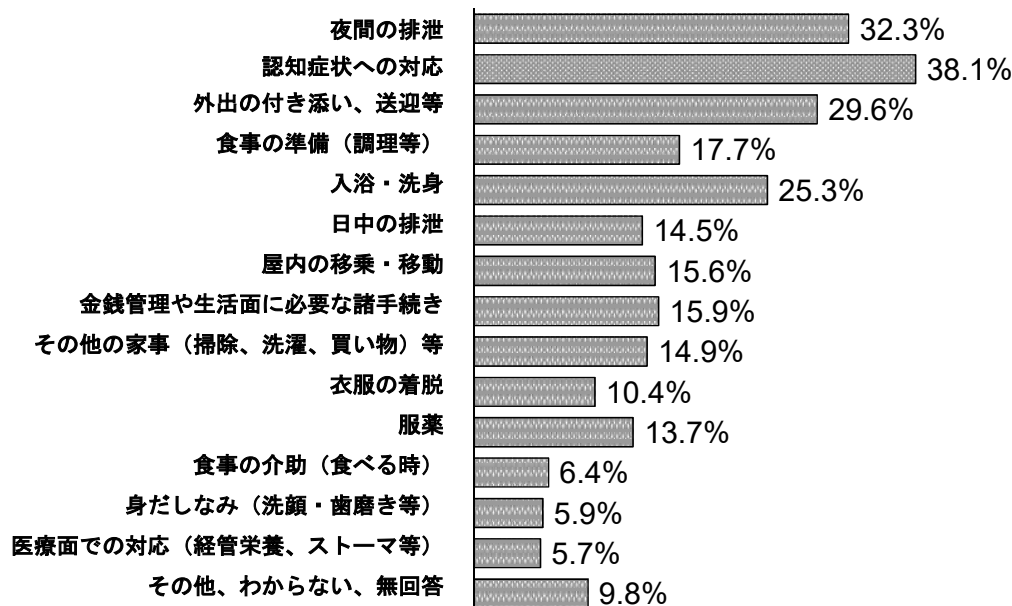


介護者が不安に感じる介護

在宅要介護認定者

単純集計 N=767

現在の生活を継続するにあたっての不安

※複数回答
(3つまで)

◆夜間の排泄、認知症状への対応、外出の付き添い・送迎等が前回調査に引き続き高い傾向にある ⇒ 不安解消に有効なサービスの提供や認知症施策の推進等の必要性

26